

「グアーガム分解物（PHGG）を含む経管栄養剤の下痢および便秘の改善に対する有効性の検討」に関する研究

1. 研究の対象

当院において2017年11月～2018年3月に経管栄養剤でメディエフを使用された患者さん、および2018年11月～2019年3月に経管栄養剤でアイソカルサポートを使用された患者さん

2. 研究目的・方法

口から栄養を摂れない患者さんでは、胃や小腸などへチューブを挿入して直接栄養を取り込みます。その際に経管栄養剤で栄養管理をしますが、便秘や下痢などの排便の問題がこりやすい傾向があります。

現在当院で使用している経管栄養剤アイソカルサポートはグアーガム分解物（PHGG）という水溶性食物繊維を含んでいます。グアーガム分解物（PHGG）は経管栄養が引き起こす下痢の防止において欧州静脈経腸栄養学会（ESPEN）では科学的根拠（エビデンスレベル）が最も高いグレードAとされています。また、国内の研究により長期間経管栄養をされた患者さんの下痢の改善だけでなく、便秘の改善効果があることも示唆されています。

当院において、以前採用されていたグアーガム分解物（PHGG）が含まれていない経管栄養剤メディエフを使用した患者さんと現在採用されているグアーガム分解物（PHGG）が含まれている経管栄養剤アイソカルサポートを使用した患者さんの下痢および便秘の頻度を過去の電子カルテの情報をもとに比較検討し、経管栄養剤の変更による改善がみられたかを検証します。

研究期間は病院長承認日から2023年12月31日までです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：下痢の回数、便秘日数、半固形剤（REF-P1）使用の有無 整腸剤使用の有無、
抗生剤使用の有無等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

「住所」 磐田市大久保 512-3

「電話」 0538-38-5000

「所属、氏名」 磐田市立総合病院 研究責任者 看護部 和田裕之